

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2020年12月14日

【四半期会計期間】 第103期第3四半期(自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)

【会社名】 オーエス株式会社

【英訳名】 OS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高 橋 秀 一 郎

【本店の所在の場所】 大阪市北区小松原町3番3号
(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区角田町1番1号(東阪急ビル内)

【電話番号】 06(6361)3554(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 森 口 武 士

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第102期 第3四半期 連結累計期間	第103期 第3四半期 連結累計期間	第102期
会計期間	自 2019年2月1日 至 2019年10月31日	自 2020年2月1日 至 2020年10月31日	自 2019年2月1日 至 2020年1月31日
売上高 (千円)	6,285,375	3,679,583	8,934,814
経常利益又は経常損失() (千円)	730,100	84,039	834,781
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益又は親会社株主に帰属する 四半期純損失() (千円)	491,401	115,832	552,813
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	500,925	145,796	561,631
純資産額 (千円)	10,431,517	10,256,734	10,492,223
総資産額 (千円)	30,011,728	29,316,163	28,979,880
1株当たり四半期(当期)純利益 又は1株当たり四半期純損失() (円)	155.21	36.55	174.61
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	34.8	35.0	36.2

回次	第102期 第3四半期 連結会計期間	第103期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年8月1日 至 2019年10月31日	自 2020年8月1日 至 2020年10月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	48.35	9.90

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当社グループは、当社、連結子会社4社及びその他の関係会社2社で構成されており、「映画事業」「不動産賃貸・販売事業」「飲食事業」「その他事業」の4つを報告セグメントとし、各種サービスの提供を行っております。

前第3四半期連結累計期間において、「その他事業」に属しておりますnamco三宮店は、2019年3月3日をもって営業を終了しております。

また、主要な関係会社については異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、当社は以前より事業等のリスクのなかで、感染症につきましても記載しておりますが、この度の新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響につきましては、「2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」に記載のとおりであります。また、今後、事態がさらに深刻化、長期化した場合には、当社グループの財政状態及び経営成績等に更なる影響を及ぼす可能性があります。引き続き今後の推移状況を注視し、対応してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は各種政策の効果もあり、徐々に持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染再拡大の兆しが顕著になる等、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループは、感染拡大防止策を講じながら、事業収益確保に注力する一方で、一層の経費削減に加え役員報酬の一部減額も実施しました。

以上の結果、夏以降の映画事業でのヒット作品の影響により、最悪の状況からは改善したものの、当第3四半期連結累計期間の成績は、売上高は3,679,583千円と前年同期に比べ2,605,792千円（41.5%）の減収となり、営業損失は37,160千円（前期は771,597千円の営業利益）、経常損失は84,039千円（前期は730,100千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は115,832千円（前期は491,401千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

（映画事業）

映画事業におきましては、10月16日公開の「劇場版「鬼滅の刃」無限列車編」の記録的大ヒットにより、10月単月の売上高は前年を上回ることができたものの、座席制限や洋画新作公開延期等の影響もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,109,020千円と前年同期に比べ1,664,281千円（60.0%）の減収となり、営業損失は233,898千円（前期は325,684千円の営業利益）となりました。

新型コロナウイルス感染再拡大のなか、年末年始の興行につきましても予断を許さない状況となっております。

（不動産賃貸・販売事業）

不動産業界におけるオフィスビル市況は、コロナ禍以降、オフィスの集約や縮小の動きも見られ、空室率の上昇と平均賃料の低下が顕在化しております。また、商業ビルにおきましても、テナントの退店または退店検討が増加しております。

不動産賃貸事業におきましては、新型コロナウイルス対策を最優先としながら、テナントの事業継続にも配慮してビル運営を継続してまいりました。当第3四半期連結会計期間末における直接保有ビルの稼働率は98.6%を維持できましたが、賃料収入やビル管理収入において新型コロナウイルスの影響を受けました。

なお、昨年和歌山県白浜町において取得いたしましたリゾートサテライトオフィスビル「ANCHOR」は整備工事等の準備を進め、11月1日に新規テナントをお迎えしてオープンいたしました。

一方、住宅販売市況は、新型コロナウイルスの影響によるテレワークの普及等、住宅ニーズに変化の兆しは見られるものの、一定の水準で維持されております。

このような状況のなか、不動産販売事業におきましては、期中に完売となった分譲マンション「ブレイジア逆瀬川宝梅 ザ・レジデンス」（宝塚市）及び分譲住宅「ハピアガーデン宝梅一丁目（共同事業）」（宝塚市）の売上を計上いたしました。

また、その他の物件につきましても、共同事業者とともに販売開始に向け準備を進めております。

以上の結果、不動産賃貸・販売事業としては、コロナ禍による賃貸事業へのマイナス影響とマンション販売戸数減により、売上高は2,468,868千円と前年同期に比べ804,732千円（24.6%）の減収となり、営業利益は789,496千円と前年同期に比べ250,227千円の減益となりました。

（飲食事業）

飲食事業におきましては、コロナ禍による休業や感染拡大防止策徹底に加え、外食需要減退の影響を受け、厳しい状況が続いてまいりました。

以上の結果、売上高は101,694千円と前年同期に比べ91,864千円（47.5%）の減収となり、営業損失は33,906千円と前年同期に比べ23,677千円の悪化となりました。

なお、飲食事業は連結子会社ＯＳフードサービス株式会社が店舗経営を行ってまいりましたが、近年業績が悪化し回復の見込みがないため、グループ組織の見直し・再編に先立ち、本年11月30日をもって同社を解散いたしました。

それに伴い、知名度を活かした今後の展開も見込めるオムライス事業につきましては、当社で引き受け、「串かつおおす メトロこうべ店」、「餃子ノ酒場おおす メトロこうべ店」は、他社に事業譲渡いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は336,283千円の増加となりました。これは有形固定資産293,039千円の減少がありましたが、主に販売用不動産503,736千円及び現金及び預金109,067千円の増加によるものであります。

負債につきましては、571,772千円の増加となりました。これは未払法人税等128,720千円の減少がありましたが、主に長期借入金427,860千円及び短期借入金392,670千円の増加によるものであります。

純資産につきましては、235,488千円の減少となりました。これは主に利益剰余金220,854千円の減少によるものであります。

(2)経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等に重要な変更はありません。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

この度の新型コロナウイルスの感染拡大が経済活動に与える影響は深刻化、長期化しております。これに対し、当社グループでは、感染拡大防止と従業員の安全確保のため、「ＯＳグループ新型コロナウイルス対策本部」を立ち上げ、各種対策を実施しております。

<主な感染防止策>

(営業における対策)

出勤時の従業員の体温検査等、健康管理の実施、館内衛生の維持、マスクの着用

消毒液の設置

ソーシャルディスタンスの確保

映画館におきましては、ビル管理法と興行場法の基準を満たした空調を常時稼働、外気の取り入れ、適切な換気・温湿度の調整

(従業員対策)

マスクの着用・消毒や換気等予防の徹底、不要不急の出張の禁止、テレビ会議システムの積極的な活用等を実施
テレワークへの移行により出社人数の調整等を実施

今後も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のための様々な取り組みを実施し、事業継続に最大限努めてまいります。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

(5)経営成績に重要な影響を与える要因について

新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループに与える影響の長期化に備え、機動的かつ安定的な資金を確保するとともに財務基盤をより一層安定させることを目的として、2020年5月25日付で金融機関とコミットメントライン契約を締結いたしました。

引き続き状況を注視し、今後の資金調達に万全を期して対応してまいります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年12月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,200,000	3,200,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	3,200,000	3,200,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年8月1日～ 2020年10月31日		3,200		800,000		66,506

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 29,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,147,400	31,474	
単元未満株式	普通株式 23,500		
発行済株式総数	3,200,000		
総株主の議決権		31,474	

(注) 単元未満株式数には、自己株式62株が含まれております。

【自己株式等】

2020年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) オーエス株式会社	大阪市北区小松原町3番3号	29,100		29,100	0.91
計		29,100		29,100	0.91

(注) 自己株式は、2020年5月22日に実施した譲渡制限付株式報酬の付与による4,925株の減少によるものの他、単元未満株式の買取請求・買増請求による増減であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年8月1日から2020年10月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年2月1日から2020年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,833	1,368,901
売掛金	311,565	320,778
販売用不動産	2,199,533	2,703,270
商品	12,121	11,178
貯蔵品	2,189	2,181
前払費用	86,264	96,423
その他	74,236	67,880
貸倒引当金	7,383	7,383
流動資産合計	3,938,361	4,563,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,050,705	19,205,837
減価償却累計額	10,829,707	11,191,355
建物及び構築物（純額）	8,220,997	8,014,481
機械装置及び運搬具	289,044	285,056
減価償却累計額	180,063	190,783
機械装置及び運搬具（純額）	108,981	94,273
工具、器具及び備品	729,380	739,526
減価償却累計額	595,356	622,155
工具、器具及び備品（純額）	134,023	117,371
土地	12,947,393	12,947,689
信託建物	596,773	597,170
減価償却累計額	177,928	206,477
信託建物（純額）	418,845	390,693
信託土地	1,812,608	1,812,608
建設仮勘定	33,686	6,380
有形固定資産合計	23,676,535	23,383,496
無形固定資産		
ソフトウェア	34,991	98,694
ソフトウェア仮勘定		20,680
その他	7,637	962
無形固定資産合計	42,628	120,337
投資その他の資産		
投資有価証券	363,549	320,234
長期前払費用	100,757	94,945
差入保証金	578,424	569,246
建設協力金	252,401	219,754
繰延税金資産	17,635	36,381
その他	8,420	8,420
投資その他の資産合計	1,321,187	1,248,981
固定資産合計	25,040,352	24,752,815
繰延資産		
社債発行費	1,166	116
繰延資産合計	1,166	116
資産合計	28,979,880	29,316,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,179	191,432
短期借入金	2,458,180	2,850,850
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払金	72,720	24,531
未払費用	254,598	220,444
未払法人税等	152,698	23,978
未払消費税等	82,696	28,856
賞与引当金	31,484	73,418
店舗閉鎖損失引当金		14,889
その他	344,243	392,189
流動負債合計	4,127,801	4,320,590
固定負債		
長期借入金	9,420,980	9,848,840
長期預り保証金	1,964,701	1,924,304
繰延税金負債	898,925	861,760
再評価に係る繰延税金負債	1,674,048	1,674,048
退職給付に係る負債	401,199	429,885
固定負債合計	14,359,855	14,738,839
負債合計	18,487,656	19,059,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,507	66,506
利益剰余金	6,800,434	6,579,580
自己株式	106,366	91,035
株主資本合計	7,560,575	7,355,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,884	109,920
土地再評価差額金	2,791,763	2,791,763
その他の包括利益累計額合計	2,931,648	2,901,683
純資産合計	10,492,223	10,256,734
負債純資産合計	28,979,880	29,316,163

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
売上高	6,285,375	3,679,583
売上原価	4,845,478	3,074,089
売上総利益	1,439,897	605,493
一般管理費	668,299	642,654
営業利益又は営業損失()	771,597	37,160
営業外収益		
受取利息	5,719	5,092
受取配当金	2,608	1,565
受取給付金等	-	12,774
投資有価証券売却益	12,382	-
その他	10,559	5,457
営業外収益合計	31,270	24,890
営業外費用		
支払利息	65,076	60,044
その他	7,690	11,724
営業外費用合計	72,767	71,769
経常利益又は経常損失()	730,100	84,039
特別利益		
補助金収入	-	2,000
特別利益合計	-	2,000
特別損失		
減損損失	-	37,615
店舗閉鎖損失	6,110	15,706
固定資産圧縮損	-	2,000
固定資産除却損	2,842	788
特別損失合計	8,952	56,110
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	721,148	138,150
法人税、住民税及び事業税	219,649	20,380
法人税等調整額	10,097	42,698
法人税等合計	229,746	22,317
四半期純利益又は四半期純損失()	491,401	115,832
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失()	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失()	491,401	115,832

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()	491,401	115,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,523	29,964
その他の包括利益合計	9,523	29,964
四半期包括利益	500,925	145,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,925	145,796
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大及び緊急事態宣言の発出等により、当社グループでは、映画館や飲食店舗、分譲マンション販売センターの営業を休止しておりました。緊急事態宣言の解除後は、感染予防策を講じながらの営業を再開しております。

このような状況のなか、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、当連結会計年度は縮小しながらも一定程度残り、翌連結会計年度中には収束すると想定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収などの会計上の見積りを行っております。この結果、回収可能性が見込めない固定資産37,615千円について減損損失を計上しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため金融機関と貸出コミットメントライン契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
貸出コミットメントの総額	1,660,000千円	4,160,000千円
借入実行残高	730,000千円	980,000千円
差引額	930,000千円	3,180,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

店舗閉鎖損失

当第3四半期連結累計期間の店舗閉鎖損失は、OSフードサービス株式会社の解散決議に伴う損失発生見込額であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
減価償却費	464,461千円	461,313千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月23日 定時株主総会	普通株式	39,574	12.50	2019年1月31日	2019年4月24日	利益剰余金
2019年9月13日 取締役会	普通株式	39,574	12.50	2019年7月31日	2019年10月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
 後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月23日 定時株主総会	普通株式	63,318	20.00	2020年1月31日	2020年4月24日	利益剰余金
2020年9月11日 取締役会	普通株式	39,635	12.50	2020年7月31日	2020年10月2日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
 後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	飲食事業	その他事業 (注3)	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	2,773,302	3,273,600	193,558	44,913	6,285,375		6,285,375
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高		30,153			30,153	30,153	
計	2,773,302	3,303,754	193,558	44,913	6,315,528	30,153	6,285,375
セグメント利益又は 損失()	325,684	1,039,723	10,229	1,995	1,357,174	585,576	771,597

- (注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 585,576千円には、セグメント間取引消去 4,763千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 580,813千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他事業」に属しておりますn a m c o三宮店は、2019年3月3日をもって営業を終了しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	1,109,020	2,468,868	101,694		3,679,583		3,679,583
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高		20,541			20,541	20,541	
計	1,109,020	2,489,409	101,694		3,700,124	20,541	3,679,583
セグメント利益又は 損失()	233,898	789,496	33,906		521,691	558,851	37,160

- (注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 558,851千円には、セグメント間取引消去 2,662千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 556,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては37,615千円であります。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益又は 1 株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 2 月 1 日 至 2019年10月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2020年 2 月 1 日 至 2020年10月31日)
1 株当たり四半期純利益又は 1 株当たり四半期純損失()	155円21銭	36円55銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社 株主に帰属する四半期純損失()(千円)	491,401	115,832
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期 純損失()(千円)	491,401	115,832
普通株式の期中平均株式数(株)	3,165,950	3,168,875

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【その他】

第103期(2020年 2 月 1 日から2021年 1 月31日まで) 中間配当については、2020年 9 月11日開催の取締役会において、2020年 7 月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	39,635千円
1 株当たりの金額	12円50銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年10月 2 日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年12月14日

オーエス株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 中 基 博 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 弓 削 亜 紀 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーエス株式会社の2020年2月1日から2021年1月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年8月1日から2020年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年2月1日から2020年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーエス株式会社及び連結子会社の2020年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。